

（注意）本様式は、書類審査の対象となるものです。こちらに記載された内容は、2 次審査の面接時に問われますので、提出時は内容の控えをとっておいてください。パソコンでの作成も可としますが、必ず応募者ご本人が作成してください。

業 務 経 験 事 例

氏 名

松葉 太郎

1. 業務の経験年数（「様式第 2 号」に記載した合計年数を記入してください。）

20

年

2. 業務内容の詳細(業務の目的、立場・役割、成果)

「様式第 2 号」で選択した（選択欄にチェックを入れた）業務内容について、その具体的内容を記入してください。 なお、**特例に該当する応募者(ア、イ)**の方は、松に限らず樹木全般を対象とします。

・業務の目的

（△△公園内松林エリアの防除事業） △△公園内の松林エリアでは、ここ数年、林内の松にマツ材線虫病と思われる被害が複数本発生していた。そのため、去年の被害材等を観察し、被害原因を明らかにしたうえで、適切な防除手法を検討するものである。

・立場・役割

担当技術者として、現地調査をはじめ、発注者との打ち合わせ、調査後の報告書の取りまとめまで、業務全般を担当した。

・成果

1 月時点で、松保護士と共に、網室に保管されていた被害材を調べ、枝の後食痕と、産卵痕、穿入孔、フラスを確認すると共に、被害材を割材し、マツノマダラカミキリの幼虫を確認し、被害がマツ材線虫病によるものであることを特定した。また、被害材周辺の松を対象として、小田式樹脂流出量調査を実施し、すでにマツ材線虫病に罹病している可能性の高い松については、カミキリの羽化・脱出前に、早急に対象木の伐倒搬出処分を行う必要があることを発注者に報告した。なお、防除対策手法としては、徹底した被害材の伐倒搬出処理のほか、無人ヘリによる空中散布を最低 2 回と、特に重要な松については樹幹注入を行うことを提案した。